

夜の森を急ぐヒロインを待ち受けるのは!?

急げ急げ...!!
出店の手続きが
遅れちゃう...!!

今日は隣町で
年に一度の収穫祭が
開催される日...

私リラが代表で
店の出し物をするんだけども

楽しみなのと緊張で
夜に眠れなかったのが
運の尽き

なので本当はちょっと
危ないんだけども近道に
使わせてもらってる森を
抜けている最中です

あれ?

こんなところに
段差なんて
あったっけ...?

んや

こと...

大丈夫
ちよつと走れば
間に合う間に合う...

はっ
はっ
はっ

ぽす

...
...
...



深緑の捕食者

大蛇

タク

巨大なへびが娘の下半身をジャック★

へ……？

ズッ

ガッ

ズッ

ズッ

き木の根つちに
引っかかったかと
思ったら…

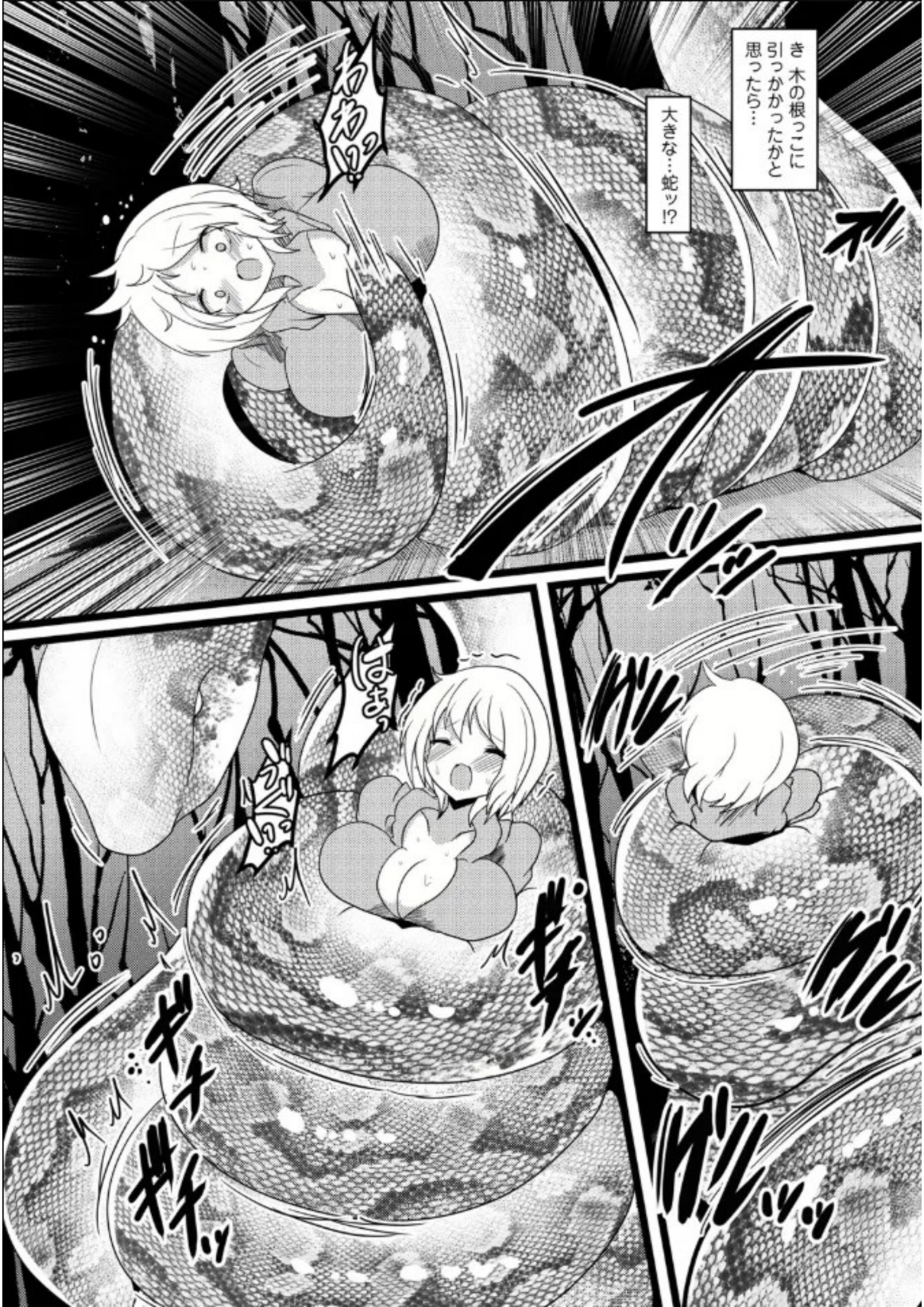
大きな…蛇ッ!?

あらッ?

はっはっ

ギョッ

ギョッ
ギョッ
ギョッ





かはははは

苦しう...!!

息が出来ない...!!
全身がまるで蒸されて
いるように熱い...!!

かはは

ギュッ
ギュッ



蛇の口の中…
ヌメヌメしてて
気持ち悪い…

もゴ

んんん

もゴ

んむん

もゴッ

ぬぢゃ

んんん

んんん

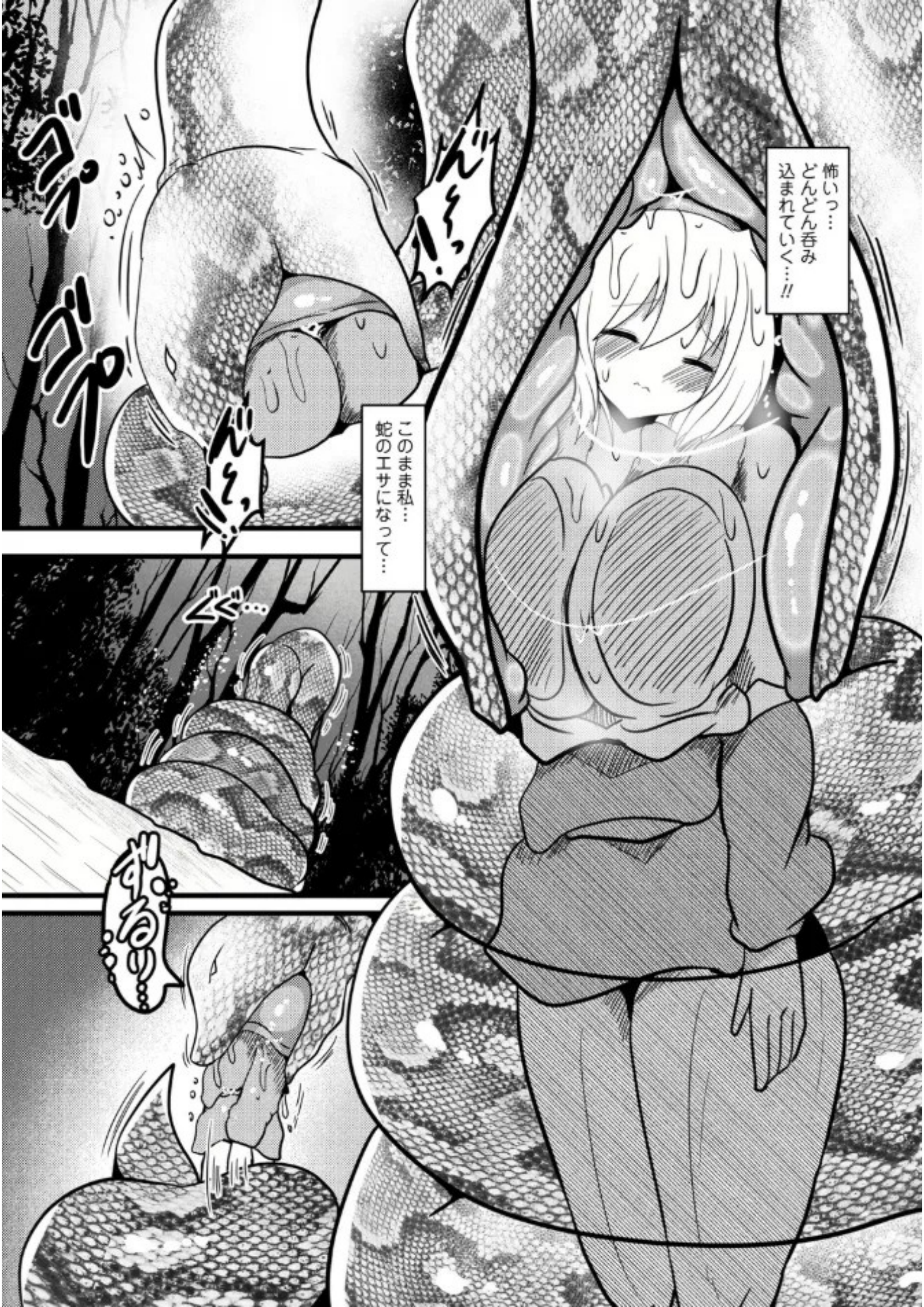
声もこもってるから
助けも聞こえてないかも…

しめつけのせいで
身体も思うように
動かせない…!!

ハッ

ハッ

んんん



怖いっ...
どんどん呑み
込まれていく...!!

このまま私...
蛇のイサになって...

ぐ...







ぜ 全身...
呑み込まれ
ちゃった...!!



とんとん
奥へと運ばれていく...

これって...
食道なら
胃袋に繋がって...

ズズズ...

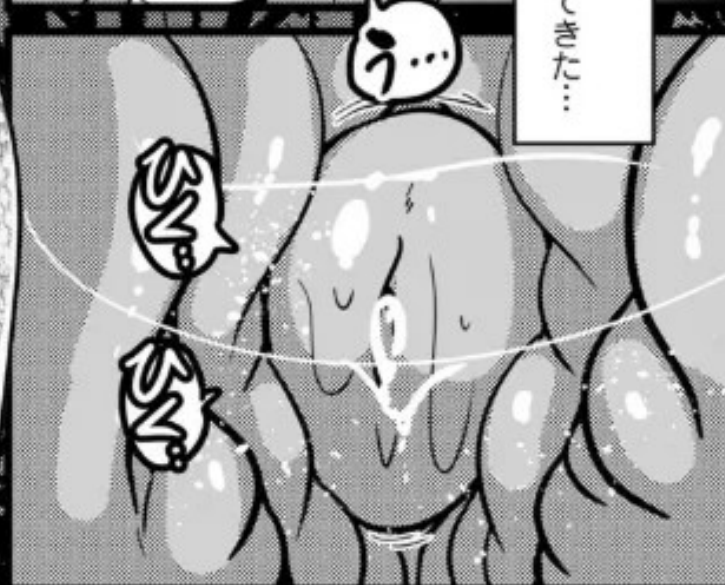


.....!!
ダメッ!!
そんなの...

胃袋の中に送られたら...
溶かされて...!?



どんどん
狭くなってきた...



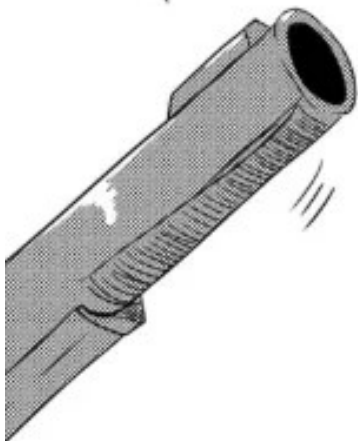
酸っぱい匂いが
充滿してる...



身体がビリビリする…
服も溶けたとして
いるみたい…

このまま私…
蛇の工サになって
溶かされちゃうんだ…

キキッ





あれ…明るい…
私…助かったの…？

よかった…
もう死んじゃって
かと思っただけ
間一髪だった
みたいだね…

私はミサ
狐師で…この
森の管理人もして
いる者だよ

今朝 森の中に
入っていくキミの
姿が見えてね

先日 街に森への
立ち入り禁止の令を
伝えたんだけど
入れ違ったようだ

立てるか？
手を貸すから
ここから避難しよう…

いける



巨大ヘビの次は
巨大カエルか...!?

チツ!!

私が大きなヘビを
始末するのを
待っていたんだな...!!

大丈夫だ!!
私だけでなんとかなる!!
せめてキミだけでも
逃げるんだッ!!

ミサさんッ!!



壁!?

なにあれ!?



なんて大きさ...!!
さっきの蛇とは
比べ物にならない...!!

もしかして
森の入り口に突然あった
壁のような段差って...

...コイツの
身体だった
って事...!?

ズ オオ...

ズイッ

ミ

ミ...





ドン

ああ

ああ

う

やあいやあいやあ...!!

身体が
ばらばらにはじけ
飛びそう...!!

肺中の空気が
ひと吹きも残らず
搾りだされて...!!

ひゃあ

み

ドン



ず
る
い

ず

アハハ

!!

キ

い

ま…また
呑み込まれた…!!

ず

ず



苦しいッ…

身体が大きい分
体内は余裕があると
思ったのに…

びくともしない…!!
指一本満足に動かせない
くらいにぎちぎちしてる…!!

い、

い、

ぽん、

すずすず
ぐゅ

